

第14回 地域医療貢献奨励賞 受賞者決定について

一般財団法人住友生命福祉文化財団(理事長 野呂幸雄)は、自治医科大学(学長 永井良三)の後援を得て、医療に恵まれない地域における医療の確保と向上および住民の福祉の増進を図るため、地域医療に多大な貢献をされている医師を対象とする「地域医療貢献奨励賞」の顕彰を2007年度より実施しております。

この度、第14回目の受賞者6名が決定いたしましたので、ここに発表いたします。また、表彰式につきましては、2021年2月20日(土)に、都市センターホテル(東京都千代田区)において実施する予定です。

記

1. 選考対象者

永年に亘り、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に著しい寄与・貢献があるとして、都道府県から推薦のある医師。なお、自治医科大学出身者については、同大学を卒業し、義務年限を終了した後も、離島、過疎地域、山村地域、特別豪雪地帯に位置する医療機関(※)又は地域医療を支援する部門(地域医療行政、へき地医療支援機構、へき地医療拠点病院等)において通算5年以上勤務している満40才以上の医師が望ましいが、これに限定されるものではない。

(※)離島振興法、山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法の指定地域等。

2. 選考方法

次の8名で構成する選考委員会にて審査・選考。(敬称略)

自治医科大学 学長 (選考委員長)	永井 良三
厚生労働省医政局 地域医療計画課長	鈴木 健彦
総務省自治財政局 準公営企業室長	水野 敦志
自治医科大学 事務局長	的井 宏樹
自治医科大学 地域医療学センター長	松村 正巳
自治医科大学 医学部審議監(兼) 卒後指導部長	高本 和彦
住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長	山中 斉
一般財団法人住友生命福祉文化財団 常務理事	高城 淳一

3. 受賞者（順不同、敬称略、年齢は2020年12月23日現在）

佐藤 元美(さとう もとみ、65歳)

岩手県 一関市病院事業管理者

昭和54年自治医科大学卒。約13年間にわたり医師不足が深刻な沿岸地域において地域医療の確保に尽力するなど、過疎、山村地域の医療に32年以上従事した。藤沢町国民健康保険藤沢診療所長に着任した平成4年から、当時まだ一般的ではなかった医療、介護、福祉の連携による体制整備を先駆的に進め、地域包括医療・ケアの実現を目指した病院の開設準備に尽力、平成5年に国民健康保険藤沢町民病院の開設時院長に着任した。院長着任後は、病院管理者として病院機能の充実、地域医療の確保、患者サービスの向上に努め、地域包括ケアシステムの確立に尽力したほか、住民が病院関係者と直接対話する「地域ナイトスクール」を定期的で開催することにより住民の地域医療への理解の促進を図っている。地域包括ケアの実践と住民との対話により良好な経営を続け、平成17年には「自治体立優良病院表彰」を受賞するなど、地域住民に信頼される病院づくりを進め、永らく地域医療を牽引してきた功績は誠に顕著であり、住民の安心と命を守るための取組みの姿勢には、多くの住民から感謝と信頼の念を寄せられている。

高橋 一二三（たかはし ひふみ、62歳）

山形県 白鷹町立病院・管理者

昭和58年自治医科大学卒。昭和63年に白鷹町立病院内科医長として着任後、同病院副院長、院長、事業管理者を歴任し、通算29年の永きにわたり特別豪雪地帯の同町において、地域住民に信頼と安心を与える医療の提供に尽力してきた。外来診療・入院診療に加え、平成7年に訪問診療、平成9年に訪問看護事業を開始するなど地域医療の充実を図るとともに、平成13年には同町健康福祉センター長に着任、地域包括ケアシステムの先駆けとなる医療と福祉の連携体制の構築にも寄与した。また、小規模病院としては先駆的に医療IT化を進め、電子カルテを導入して経営効率化に尽力したほか、人間ドックなど予防事業も推進し、受診者全員への栄養指導を実施するなど地域住民の生活習慣病の予防、疾病の早期発見にも努めてきた。更に今般の新型コロナウイルス感染症拡大においては、帰国者接触者外来としての協力、発熱外来の設置など公衆衛生面でも尽力している。地域医療の確保のみならず、住民の健康維持・福祉の充実に長年にわたり貢献した功績は極めて大きいものがある。

藤森 勝也(ふじもり かつや、60歳)

新潟県 あがの市民病院・院長

昭和60年自治医科大学卒。県立妙高病院、県立柿崎病院など特別豪雪地帯のへき地病院を歴任した後、平成19年に県立柿崎病院の院長に着任、継続して地域包括医療ケアを推進してきた。県立柿崎病院では全職員による「いきいき健康講座」や「地域の医療を考える会」などの開催に加え、院外薬局との協力による「お薬相談会」、地域老人会との連携による出前健康講座、地元中学校での禁煙・禁薬物教育など地域組織と協働も図り、地域ぐるみで医療の底上げを目指す取り組みを行った。平成29年にあがの市民病院の院長に着任後は、「医療資源が乏しい地域で、健康寿命日本一を目指す」を目標に、地元自治体と協力して「自助」に力を入れ、糖尿病教室や出前健康講座などを開催するほか、近隣の医療施設との医療機器の共同利用、在宅療養後方支援病院のシステム化、介護施設との連携の会設立による顔の見える関係性作りなどを進めている。また、学会誌へ報告を行うなど、特に咳嗽(がいそろう。一般的に言うところの“せき”)の臨床的研究にも積極的に取り組み、臨床に基づいた学術活動やアレルギー学の啓発・普及にも尽力している。永きにわたり地域医療の一翼を担ってきたことに加え、地域医療の本質である全職員による「地域とのかかわり」を重視し、「地域を治し、支える医療」を構築してきたことは、地元新聞をはじめ地域からも高く評価されている。

丸山 敦(まるやま あつし、68歳)

山梨県 身延山病院・院長

昭和54年自治医科大学卒。昭和56年に身延山病院に着任、約40年間にわたり、山梨県南部の山間地域に位置する同病院において、外科医として地域医療に携わってきた。身延山病院に着任するきっかけは、同病院の医師が不在となったことにより急遽、派遣が決定したことによるものであったが、当時、報道機関から医療砂漠と表現された同地域において一人で診療を開始し、昼夜を問わず精力的に医療活動を行ってきた。医療機関や医師の数が他の医療圏に比べ最も少ない状況にある中、同病院の副院長、院長を歴任、自らの伝手を頼りに少しずつ仲間を募り、現在は、常勤医9名、非常勤医20名の医療体制を確立している。また、へき地における持続的で切れ目ない診療を継続するため、隣接する町の医療センターとの連携強化を図るなど医療連携体制の推進にも力を尽くし、外科専門医、指導医として後進の育成を図るなど、その実直な仕事ぶりから、病院職員はもちろん、地域住民から広く信頼を得ている。40年以上の永きにわたり地域における医療の確保と向上に努めてきたその功績は、誠に顕著である。

大嶋 仙哉(おおしま せんや、80歳)

和歌山県 みなべ町立高城診療所・院長

昭和40年大阪大学卒。大阪大学医学部第一外科、社会保険紀南総合病院外科などを経て平成元年に紀南総合病院副院長に着任。平成4年、終戦後間もない頃から高城診療所でのへき地医療に尽力していた父に代わり、地域住民の強い要望で同診療所の院長に就任した。高城診療所は、みなべ町中心部から約10km離れた所に位置し、住民の医療及び健康管理を一手に担っている地域にとって欠かせない診療所であるが、同氏は院長として着任以来、28年以上の永きにわたり昼夜を問わず診療所での治療や往診に奔走、地域住民の健康な暮らしを守るために全身全霊でへき地医療に取り組んできた。また、診療活動の傍らには、保育所、特別養護老人ホームの嘱託医、学校医として住民の健康管理にも尽力し、地元県知事からも保健福祉の功労者として表彰を受けるなど、その地域住民の暮らしに寄り添った医療活動は、地域住民にとって安心感をもって自らの健康管理を託せるものとなっている。高城診療所をはじめ、へき地診療に38年以上従事し、地域医療の確保と住民の健康福祉へ果たした貢献は極めて大きいものがある。

佐藤 立行(さとう たちゆき、93歳)

熊本県 佐藤医院・院長

昭和25年熊本医科大学卒。昭和28年に国立戸馳療養所に内科医師として着任。以来67年の永きにわたり、八代海に位置する戸馳島の医療に貢献した。国立戸馳療養所に着任後は、同療養所内科医長、副所長、国立療養所三角病院副院長を歴任し、昭和60年には戸馳島の無医地区に開業、その間一貫して真摯な態度で地域医療に従事し、住民の医療・保健・福祉の向上に努めた。また、平成元年から現在に至るまで小中学校の校医として生徒の健康管理及び学校保健会の活動に尽力、学校保健の推進に努めるほか、昭和60年から平成13年まで三角町教育委員会の委員、委員長を歴任、その間、小規模校の教育向上効果を考慮した小中学校の統合を進め、地方教育行政に対する功労で文部科学大臣賞を受賞するなど医療分野以外でも地域社会に大きな貢献をしている。地域の医師会でも平成8年から平成30年の間、裁定委員や理事を歴任、医道の高揚と親睦融和に努めて医師の資質の向上を図るなど、永きにわたり地域の医療・保健・福祉の向上に努めた功績は極めて大きい。

4. 表彰式

- (1) 日時 2021年2月20日(土) 15:00より
- (2) 会場 都市センターホテル6階
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1
(TEL) 03-3265-8211 (FAX) 03-3262-1705
- (3) 表彰内容 表彰状、表彰楯、副賞50万円を授与

以上

【問合せ先】

一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局 水谷 石橋
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15
(TEL) 06-6304-8141 (FAX) 06-6304-8041

《参考》過去13回の地域医療貢献奨励賞受賞者(敬称略)

第13回 (2019年度) (年齢は2019年12月13日現在)

遠藤 秀彦(67歳)	岩手県岩手郡葛巻町	国民健康保険葛巻病院 院長
勅使河原 正敏(65歳)	埼玉県秩父市	秩父市立病院 院長
萩野 正樹(58歳)	福井県南条郡南越前町	南越前町国民健康保険今庄診療所 所長
丹羽 治男(52歳)	愛知県北設楽郡東栄町	東栄医療センター センター長
中島 恭二(61歳)	滋賀県甲賀市	甲賀市立信楽中央病院 院長
藤本 特三(65歳)	和歌山県田辺市	紀南病院 内科嘱託

第12回 (2018年度) (年齢は2019年2月23日現在)

小窪 正樹 (65歳)	北海道河西郡芽室町	公立芽室病院 院長
柴野 良博 (65歳)	岩手県下閉伊郡岩泉町	済生会岩泉病院 院長
三澤 弘道 (62歳)	長野県小県郡長和町	長和町・上田市組合立国保依田窪病院 院長
木山 佳明 (64歳)	兵庫県朝来市	公立豊岡病院組合立朝来医療センター 院長
仲田 永造 (71歳)	岡山県高梁市	医療法人仲田医院 院長
詫摩 衆三 (62歳)	福岡県田川郡福智町	医療法人たくまクリニック 理事長

第11回 (2017年度) (年齢は2018年2月24日現在)

小林 達 (62歳)	山形県西村山郡 朝日町立病院 院長
佐久間 暢夫 (56歳)	山口県萩市 萩市国民健康保険川上診療所 所長
鎌村 好孝 (56歳)	徳島県徳島市 徳島県保健福祉部・次長(併)徳島県立中央病院地域医療科 部長
主藤 久次 (66歳)	長崎県対馬市 医療法人すとう内科医院 院長
赤池 義昭 (83歳)	宮崎県串間市 本城診療所 (元)所長
高石 利博 (75歳)	沖縄県国頭郡 医療法人博寿会もとぶ記念病院 理事長(兼)院長

第10回 (2016年度) (年齢は2017年2月25日現在)

阿部 吉弘 (63歳)	山形県西置賜郡小国町	小国町立病院 院長
鈴木 孝徳 (56歳)	千葉県南房総市	南房総市立富山国保病院 院長
金子 吉彌 (70歳)	静岡県静岡市	大川診療所 所長
中村 達 (63歳)	奈良県桜井市	南奈良総合医療センター・ へき地医療支援センター長
大原 昌樹 (56歳)	香川県仲多度郡多度津町	綾川町国民健康保険陶病院 院長
黒木 重三郎 (87歳)	宮崎県東臼杵郡諸塚村	国民健康保険諸塚診療所 嘱託医、副所長

第9回 (2015年度) (年齢は2016年2月20日現在)

土井 和博 (59歳)	山形県酒田市	酒田市立八幡病院 院長
岸本 秀文 (55歳)	新潟県妙高市	新潟県立妙高病院 院長
金田 道弘 (61歳)	岡山県真庭市	社会医療法人 緑社会 理事長
政井 俊憲 (56歳)	山口県阿武郡阿武町	阿武町国民健康保健福賀診療所 所長
樋口 定信 (70歳)	熊本県上天草市	上天草市立上天草総合病院 事業管理者
馬場 宏敏 (58歳)	大分県中津市	中津市国民健康保健槻木診療所 所長

第8回 (2014年度) (年齢は2015年2月21日現在)

山田 昌弘 (60歳)	山形県東置賜郡川西町	公立置賜総合病院 副院長
藤井 佑二 (70歳)	東京都大島町	大島医療センター 院長
南 眞司 (66歳)	富山県南砺市	南砺市政策参与、地域包括医療・ ケア局地域包括課顧問
二村 昭 (72歳)	三重県南牟婁郡紀宝町	紀宝町顧問
濱田 邦美 (51歳)	徳島県那賀郡那賀町	相生包括ケアセンター センター長
鈴木 済 (55歳)	鹿児島県薩摩川内市	里診療所 所長

第7回 (2013年度) (年齢は2014年2月8日現在)

朝比奈 利明 (55歳)	山梨県南巨摩郡身延町	身朝廷町早川町組合立飯富病院 院長
後藤 忠雄 (49歳)	岐阜県郡上市和良町	郡上市地域医療センター センター長
高見 徹 (64歳)	鳥取県日野郡日南町	日南町国保日南病院 院長
渡辺 俊晴 (60歳)	香川県高松市塩江町	高松市民病院塩江分院 院長
菊池 良夫 (53歳)	愛媛県西予市宇和町	西予市立宇和病院 副院長
坪山 明寛 (67歳)	大分県豊後大野市清川町	社会医療法人関愛会清川診療所 所長

第6回 (2012年度) (年齢は2013年2月23日現在)

須貝 昌博 (59歳)	山形県西村山郡西川町	西川町立病院 院長
中谷 武 (55歳)	福島県南会津郡南会津町	医療法人南嶺会なかやクリニック理事長
吉嶺 文俊 (52歳)	新潟県東蒲原郡阿賀町	新潟県立津川病院 院長
浦岡 秀行 (53歳)	徳島県海部郡牟岐町	徳島県立海部病院 部長
小野 歩 (55歳)	高知県幡多郡大月町	大月町国民健康保険大月病院 院長
金丸 吉昌 (58歳)	宮崎県東臼杵郡美郷町	美郷町地域包括医療局 総院長

第5回 (2011年度) (年齢は2012年2月18日現在)

洪間 久 (60歳)	山形県新庄市	県立新庄病院 副院長
田原 邦朗 (54歳)	東京都西多摩郡檜原村	原村国民健康保険檜原診療所 所長
蜂谷 春雄 (56歳)	富山県高岡市	高岡市民病院 内科主任部長
橋本 宏樹 (60歳)	石川県白山市	公立つるぎ病院 副院長兼吉野谷診療所 所長兼中宮診療所 所長
細江 雅彦 (56歳)	岐阜県恵那市	市立恵那病院 管理者
阿部 顕治 (55歳)	島根県浜田市	浜田市国民健康保険弥栄診療所 所長
茶川 治樹 (58歳)	山口県岩国市	岩国市医療センター医師会病院 副院長
永吉 正和 (72歳)	熊本県天草市	天草市病院事業 管理者

第4回 (2010年度) (年齢は2011年2月19日現在)

木村 康一 (55歳)	宮城県登米市	医療法人社団緑水会米川診療所 所長
小野 剛 (53歳)	秋田県横手市	市立大森病院 院長
鈴木 啓二 (59歳)	福島県会津若松市	福島県立会津総合病院 院長
折茂 賢一郎 (52歳)	群馬県吾妻郡長野原町	西吾妻福祉病院 管理者
濱崎 豊 (56歳)	熊本県天草市	国民健康保険天草市立新和病院 院長
長松 宜哉 (56歳)	大分県大分市	社会医療法人関愛会 理事長

第3回 (2009年度) (年齢は2010年2月27日現在)

関口 忠司 (55歳)	栃木県那須烏山市	南那須地区広域行政事務組合立 那須南病院 院長
辻 博 (55歳)	富山県黒部市	黒部市民病院 理事
高田 孝 (71歳)	石川県白山市	公立つるぎ病院 名誉院長
河合 邦夫 (52歳)	福井県南条郡南越前町	河野診療所 所長
赤木 重典 (57歳)	京都府京丹後市	京丹後市立久美浜病院 副院長
本永 英治 (53歳)	沖縄県宮古島市	沖縄県立宮古病院 医療部長

第2回 (2008年度) (年齢は2009年2月28日現在)

青沼 孝徳 (56歳)	宮城県遠田郡涌谷町	涌谷町町民医療福祉センター センター長
大森 英俊 (54歳)	茨城県常陸太田市	医療法人大森医院 院長
山田 寛 (49歳)	静岡県静岡市葵区	静岡市国民健康保険井川診療所 所長
廣内 幸雄 (55歳)	和歌山県伊都郡高野町	高野町立高野山病院 院長
渡邊 賢司 (57歳)	鳥取県岩美郡岩美町	岩美町国民健康保険岩美病院 院長
春口 洋賜 (57歳)	熊本県球磨郡多良木町	球磨郡公立多良木病院 副院長

第1回 (2007年度) (年齢は2008年2月8日現在)

葛西 智徳 (47歳)	青森県三戸郡三戸町	国民健康保険三戸中央病院 副院長
布施 克也 (49歳)	新潟県十日町市	県立松代病院 院長
奥野 正孝 (54歳)	三重県鳥羽市	鳥羽市立神島診療所 所長
榊原 均 (52歳)	島根県隠岐郡海士町	海士町国民健康保険海士診療所 所長
津田 俊彦 (52歳)	長崎県五島市奈留町	長崎県離島医療圏組合奈留病院 院長
今隈 満 (58歳)	鹿児島県肝属郡南大隅町	今隈医院 院長(開業)

以上